

鹿児島 ROCK NEWS No.4

鹿児島唯一のロッククライミング情報誌（不定期発行・無料）

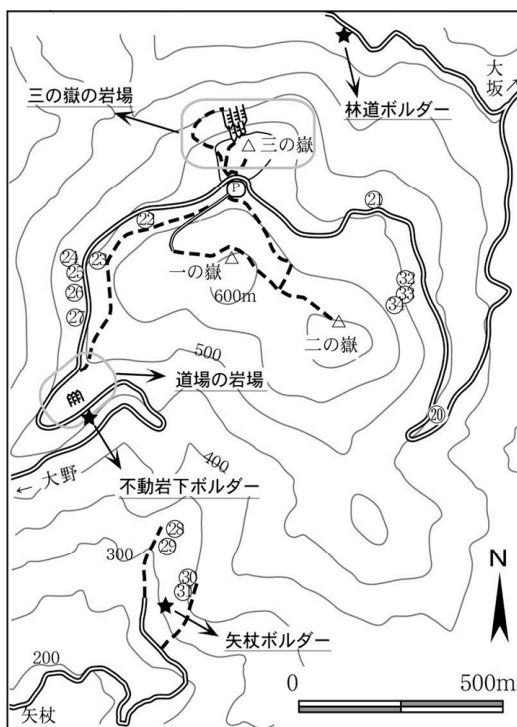
カラー版をウェブで配信中 http://homepage.mac.com/hyam2/Climbing_Guide/

本誌は創刊から一年と少しかかってようやく4号です。鹿児島の岩場を紹介し終えるのに何年かかるのかわからなくなってきました。今号でご紹介するのは金峯山の「大仏岩」と「坊主岩」です。1990年代の金峯山

の開拓は不動岩から着手され、その周辺の岩場に及んでいきました。5.7から10台前半までのやさしいラインを登り尽くすと、未知の岩を探して開拓を継続し、現在までに34の岩にルートが拓かれています（他の山岳会による開拓とトップロープ課題だけの岩を含む）。発見したものの、登れそうに思えなかったり、アプローチが不便で手をつけなかった岩もあります。最近はそのような岩のいくつかに高難度のボルダリング課題が拓かれています。うっかり

ボルトなどを打たなくてよかったと思います。

大仏岩は右上の地図で23番の位置にあります。一の嶽と三の嶽の間にある駐車場（上図の「P」）から「西側遊歩道」を南西方向に約300m進むと「西展望台」に至ります。展望台は老朽化して立入禁止になっています。展望台の入り口の右側から踏み跡に従って10mほど下ると大仏岩の東側に出ます。この踏み跡にはハゼの木があって、触れるとかぶれることがあるのでご注意ください。展望台はこの岩の上に乗っかるように設置されています。西展望台直下の舗装道路から大仏岩に至る近道もあります。道路から展望台が見える位置より50mほど南の山側に赤いテープの目印があります。そこから薮

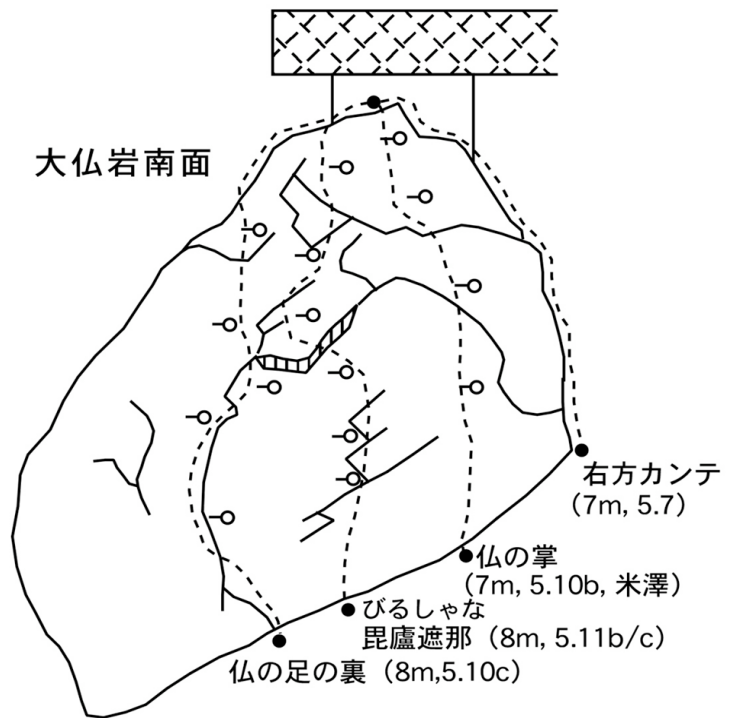


- | | |
|----------|----------|
| 1: 仁王岩 | 21: ごまめ岩 |
| 2: 観音岩 | 22: 坊主岩 |
| 3: 弁天岩 | 23: 大仏岩 |
| 4: 不動岩 | 24: 普賢岩 |
| 5: 地藏岩 | 25: 帝釈岩 |
| 6: 羅漢岩 | 26: 孔雀岩 |
| 7: 布袋岩 | 27: 夜叉岩 |
| 8: 文殊岩 | 28: 金閣岩 |
| 9: 彌勒岩 | 29: 銀閣岩 |
| 10: 蓮華岩 | 30: 三蔵岩 |
| 11: 阿修羅岩 | 31: 悟空岩 |
| 12: 薬師岩 | 32: 屏風岩 |
| 13: 翁岩 | 33: 柱岩 |
| 14: 北壁 | 34: 扇岩 |
| 15: 閻魔岩 | |
| 16: 阿弥陀岩 | |
| 17: 毘沙門岩 | |
| 18: 金剛岩 | |
| 19: 念仏岩 | |
| 20: 虚空蔵岩 | |

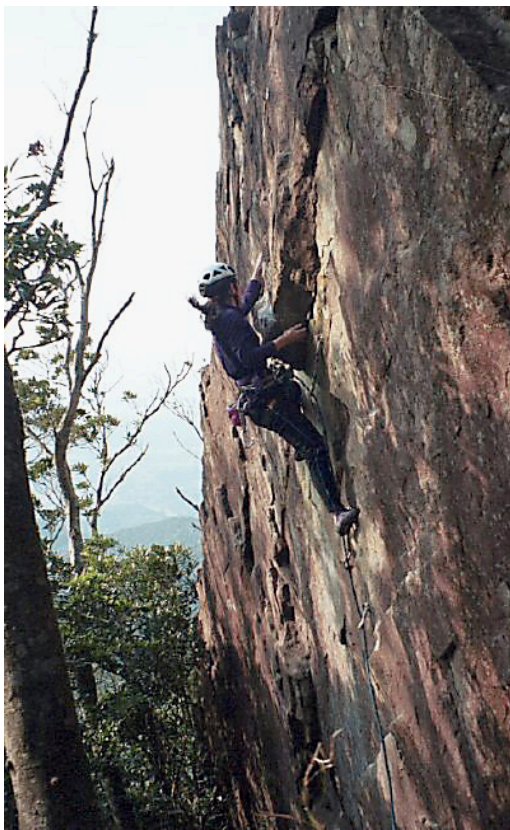
★ボルダー課題の詳細は、Rock & Snow No. 23 2004年春号（山と溪谷社）をご覧ください。

に分け入って踏み跡を辿り、遊歩道に行き当たったところで左に進むと展望台入口に至ります。

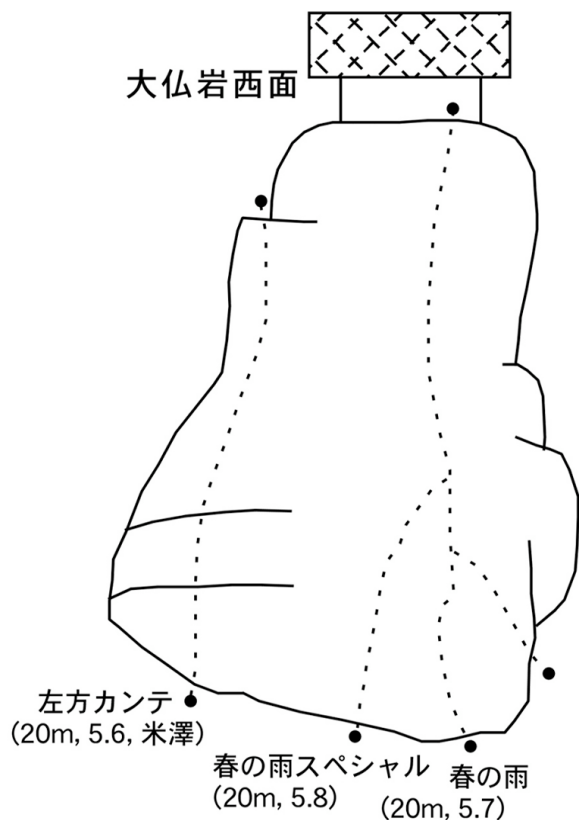
大仏岩で登攀の対象になるのは、岩の南面、西面および北面です。南面は垂直よりやや逆傾斜したフェイスで、4本のラインがあります（右の図）。右端の「右方カンテ」にはボルトを設置していません。右方カンテの上半分は他のルートを終了点からの下降路です。次の「仏の掌」は3本目のボルト付近が核心部で、そのムーブは



かなりトリッキーです。もちろん詳しいことはここには書きません。前ページの写真は核心の場面ですが、上からのショットなのであまり参考にはならないでしょう。このラインをトップロープでトライするときは、下部で落ちると左に大きく振られるので注意してください。その左の「毘盧遮那（びるしゃな）」は金峯山で最初に完成したイレブンのルートです。南面の中央部を三角形の頂点目指して登ります。出だしからホールドの配置が悪く、微妙なバランスを強いられます。三本目のボルトまではグラウンド

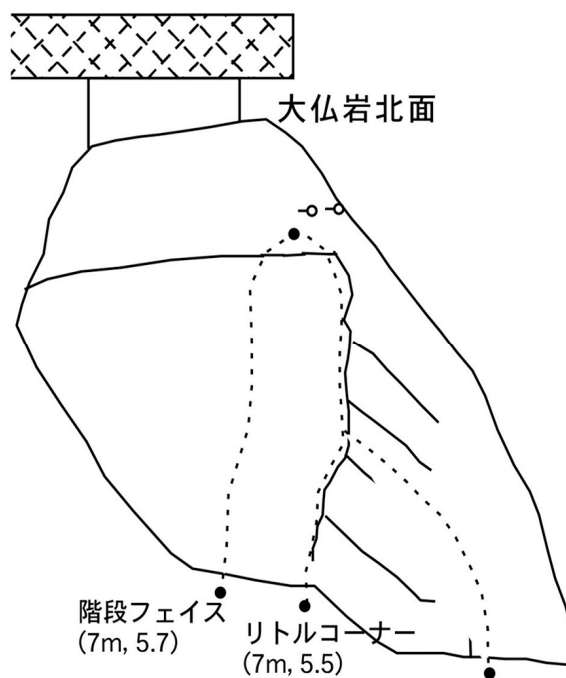


フォールの可能性があります。特に二本目のボルトにはヌンチャクではなくて、ロープを通したカラビナを直接かけるほうがいいでしょう。核心部は三本目の左上にある小さいハングを越えてその上に立つまでの数手です（左の写真）。ボルトが近いのでZクリップに注意してください。トップアウトするときの動作にもなかなかシブいものがあります。その左の「仏の足の裏」は縦と横のエッジをうまく使い分けるときれいに登れます。三本目のボルト付近が核心部です。ここは初登時には正対して登っていて、5.10dのグレードをつけました。後に楽なムーブが見つかって10cに格下げになっています。最近、仏の足の裏の左側のライン（5.10c程度）がトップロープで登られましたが、



まだボルトは設置されていません。

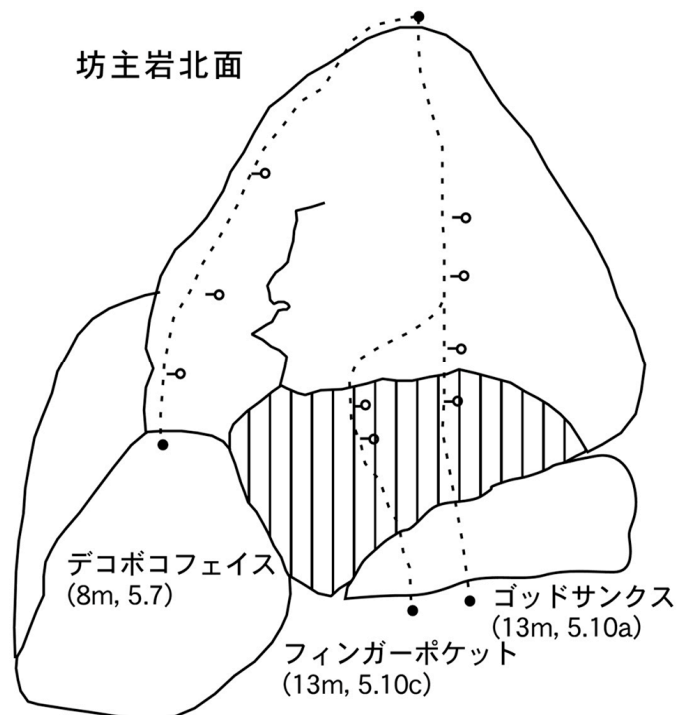
西面には5.6から5.8までの易しいルートがあります（左上の図）。出だしの3mくらいは垂直に近く、核心もそこにあります。右上の写真の人物は「春の雨」に取り付いているところです。開拓中に、にわか雨が降ったことからこの名前をつけました。西面の中央部のフェイスは、ホールドが小さくて少し難しくなるので「春の雨スペシャル」としています。写真の画面からは切れていますが、左のカンテ状部分には「左方カンテ」があります。西面の上部は傾斜が緩く、ノーハンドでも登れそうですが、私は試したことはありません。展望台が作られた岩だけあって、天気がよければ終了点から吹上浜と東シナ海がよく見えます。上部の傾斜が緩いのでローダウンは難しいです。ヌンチャクを回収するには、ビレイヤーにフォローしてもらって東面側に降りるか、終了点から懸垂下降します。登攀距離は20m程度なので、終了点からトップロープを取って初心者のリードの練習に使えます。



北面（右の図）には「リトルコーナー（5.5）」と「階段フェイス（5.7）」というトッ

プロップのみのルートがあります。なにしろ階段状なので、全くの初心者でも登れてしまいます。リトルコーナーは、右寄りの位置から取り付くと登攀距離が長くなるのですが、寄りすぎると西面の左方カンテと重なります。

坊主岩は1ページの地図の22番の位置です。駐車場から約200m進むと右手にベンチがあって、その奥に丸い岩の頭が見えます。それが坊主岩です。向かって左側から藪に入り、右に回り込むように約15m降りると岩の基部です。遊歩道から見える部分は小さなものですが、その実体は10m以上の高さがあって、下部は大きくオーバーハングしています。発見時はハングに圧倒されました。ところが、実際にトライしてみると5.10台でした。北面の「ゴッドサンクス」にはガバっとした



したホールドが並んでいます。ワシづかみにしてグイグイ登ってください。「フィンガーポケット」は出だしのポケットホールドから名前をつけています。核心部は左手で遠いフレック状のガバを取るところです。足の位置と身体の振り方に工夫が必要です。そのあとは右側のゴッドサンクスの上部に合流します。「デコボコフェイス」は左手にある小さい岩に乗って取り付きます。傾斜は緩くホールドも豊富です。

北東面には「リトルクラック(5.5)」、西面には「木魚フェイス(5.7)」と「線香クラック(5.6)」というルートがありますが、紙面のつごうで割愛します。ウェブサイト http://homepage.mac.com/hyam2/kimpo_zan/には全面のルート図があります。

発行：クライミングクラブ鹿児島黒稜会 (<http://www2.synapse.ne.jp/kokuryoukai/1-1.html>)

代表連絡先：三穂野善則 〒899-5656 始良郡始良町西始良2-4-9 電話：0995-65-6210

編集担当：山本啓司 電子メール：a002_hyam2@mac.com

本誌は複写自由です。複写物を再配布するときは、全ページを一括して配布してください。本誌の情報はクライミング行為の安全性を保証するものではありません。金峯山へのアクセスについては本誌のNo. 1を、岩場・ボルダーについてまとめた情報が必要な方は、「日本100岩場」第5巻、および「Rock & Snow」No. 23 (山と溪谷社)をご覧ください。

スペシャルティコーヒーのカフェ・くらわんか

〒891-0144 鹿児島市下福元町4794-3 Tel&Fax: 099-261-3669

日曜休業 土曜日は月三回営業 (クライミングウォールあります)

<http://homepage.mac.com/hyam2/curawanka/>

